



▶▶▶プロフィール

**よこた・りゅういち** 昭和60年生まれ。身長179cm、体重61kg。南中学校在学中はサッカー一部に所属。陸上の強豪校の中京大学附属中京高等学校から青山学院大学に進み、今年3月卒業。大学在学中は、陸上競技部長距離ブロックに所属。趣味はサッカー観戦とミステリー小説の読書。将来の夢は、居酒屋を経営すること。

▶8大学から選ばれた10人が、心をつなぐにたすきをつないだ関東学連選抜。4位入賞は過去最高の成績。



瞳を輝かせて  
Brilliant  
Eyes

箱根路で魅せた寄せ集め集団の逆襲  
第84回箱根駅伝に関東学連選抜チームのアンカーとして出場し、第4位入賞に貢献

横田 竜一さん(新屋)

**東** 京箱根間の往復217.9kmを2日間で10人のランナーがたすきをつなぐ箱根駅伝。

毎年いくつものドラマを生み出し、多くの駅伝ファンを引きつけます。今回は、1月2日・3日に行われた第84回箱根駅伝に出場し、関東学連選抜チームのアンカーとして、選抜チーム過去最高の4位入賞に貢献した、横田竜一さんをご紹介します。高校陸上の強豪校、中京大学附属中京高校で陸上部入部をきっかけに駅伝を始めた横田さん。「みんなが一つの同じ目標に向かって努力し、それが達成できたときの喜びは、個人種目の何倍もううれしいです」と駅伝の魅力を話します。大学は、高校の陸上部の監督から推薦を受けて、

その年「長距離強化元年」として駅伝種目に力を入れ始めた青山学院大学に進学。目標は、大学長距離陸上界最高の晴れ舞台「箱根駅伝」出場でした。「大学の陸上部の練習は、常に選手の主性が尊重され、自ら考えて取り組むことが必要。自分は、才能がある訳ではないので、いつも人よりも多く、継続して練習することを心掛けていました」と地道な努力を続けてきました。横田さんたち「長距離強化1期生」が4回生になったとき、青山学院大学は箱根駅伝予選会突破の可能性が大いに膨らんできました。その一方で横田さんは、大学生生活を最後に陸上を引退することを決意。競技生活の集大成として大学最後の箱根駅伝予選会に臨みました。前年の大会上位10校のシードを除き、残り出場枠は9校。その出場枠を賭けた42校による激しい争いの結果、青山学院大学はきん差の10位で、惜しくも箱根駅伝出場を逃してしまいました。しかし、予選会で落選した全大学の記録上位選手の中から選ばれる、関東学連選抜のメンバーに横田さんが初選出されました。今年の学連選抜チームは、前年最下位の屈辱を晴らすため例年1日しか行わない合同練習を4日、合同合宿を1回実施。メンバー同士、密な関係が築けたことが今回の好成績につながったと横田さんは振り返ります。往路を走ったメンバーからのレース直前の激励も、アンカーを務めた横田さんの背中を後押し。「寄せ集め集団でも、各自が責任を果たしてつないだたすき。ゴールしたときは無事走りきった安堵感と、4位を守った達成感で最高の気分でした」と横田さんは笑顔で駅伝引退レースを締めくくりました。



お誕生日コーナーの応募者の中で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

## おめでとう おたんじょうび 4月



『仲良く車のおもちゃで遊んでね』  
車のおもちゃが好きなこうくん。昔  
楽に合わせて踊るのが好きなみおちゃ  
ん。いつもこうくんは、みおちゃんに  
車のおもちゃを貸してあげて、仲良く  
遊んでいるんだ。二人に「誰にでも優  
しくできる子になってね」とお母さん  
たのうえ  
**田上 晃くん(三好上)**  
みお 平成17年4月12日生  
**美桜ちゃん(写真右)**  
平成19年4月1日生  
父・賢知さん 母・優季さん

## 出場者募集

【6月のお誕生日コーナー】  
▼応募期間 5月1日から7  
日まで(土・日曜、祝日除く)  
▼対象 6月生まれで3歳未  
満の児  
▼応募方法 秘書広報課へ電  
話で☎(32)83357  
※4月生まれの応募は、10人  
でした。(抽選により掲載決定)



『機関車トーマスが大好き』  
お話し上手なおんくん。保育園で  
遊んだことをパパやママにいっぱいお  
話してくれるんだって。機関車ト  
ーマスのプラレールが大のお気に入り  
キャラクターの名前もいっぱい覚えて  
いるおんくんは「他人の気持ちの分  
かる子になってね」とお母さん。  
たなか  
**田中 詩恩くん(三好下)**  
平成17年4月7日生  
父・史朗さん 母・美香さん

## 広報クイズ

問間違え探します。上の絵と下の絵で間違  
っている箇所は、いくつあるでしょう。



【応募方法】①答え例：1②郵便番号③住所

④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦広報み  
よしに対する意見、感想を記入し、はがき、フ  
ァクス、または電子メールで秘書広報課へお  
送りください。正解者の中から抽選で10人に  
図書カード500円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】

はがき：〒470-0295

三好町役場秘書広報課(住所の記入不要)

ファクス：☎(34)60008

電子メール：✉isyokohono@town.aichi-miyoshi.lg.jp

【締め切り】4月10日(木)必着

【3月号の正解と当選者】答え：7つ

(全28通正解27通)伊藤美保子、大  
野美香、加藤昌子、川瀬誠、黒川  
浩太郎、近藤容仔、竹下朋洋、日  
比野宇、細田純一、森千恵子(敬称略)

2	●	3	●
●	3	●	●
●	2	●	1
2	●	●	●

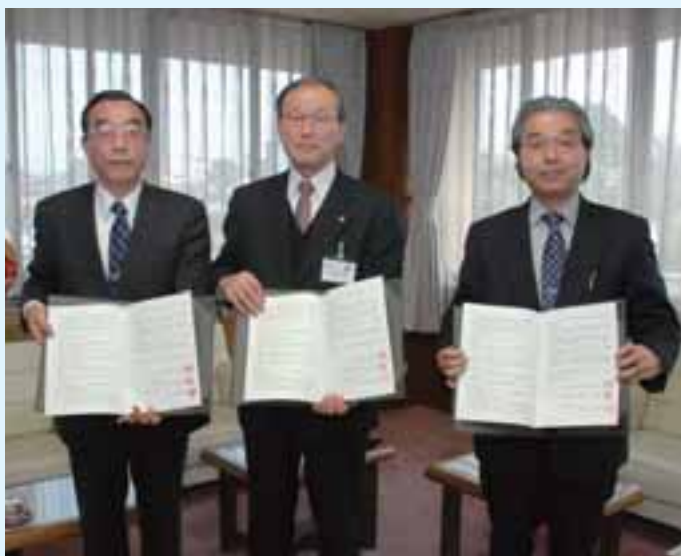
※ご応募いただいた個人情報、抽選以外の目的  
では使用しません。抽選後は破棄します。



## 自由で公正なまちを目指して

### 「暴力団排除に関する合意書」調印式

公共工事などから暴力団を排除するため、町と豊田警察署との支援・協体制などを定めた合意書の調印式が3月12日、三好町役場で行われました。久野知英町長と柴田時宗町民病院事業管理者、脇田誠治豊田警察署長が合意書に調印。久野町長は「豊田警察署と連携し、さらに皆さんの安全・安心を目指します」とあいさつしました。また脇田署長は「皆さんの協力を得ながら、暴力団壊滅に一層努力します」と決意を述べました。



## 10年間ありがとう

### ティム先生お別れ会(緑丘小学校)

小中学校で10年間、英語講師を務めた「ティム先生」とティモシー・クラークさん。母国オーストラリアに帰ることになり、各小中学校でお別れ会が行われました。3月14日の緑丘小学校では、児童代表が「英語の楽しさを教えてくれてありがとう」と花束を贈呈。ティム先生は「楽しい時間をありがとう。みんなに会えて本当に良かったです」とあいさつし、子どもたちは歌で見送りました。(ティム先生連絡先: [timsensei@gmail.com](mailto:timsensei@gmail.com))



## 毎日楽しく健康づくり

### ウォーキング講習会

歩くことを見直してもらおうとウォーキング講習会が3月5日、三好公園で開かれました。三好町ウォーキング協会が主催し14人が受講。日本ウォーキング協会公認指導員の喜田重信さんが講師を務め、参加者は初めにストレッチで体を十分にほぐしました。続いて基本的な歩き方の解説を受けた後、早速三好池から筋生梅の里へ向けて出発。参加者は、和気あいあいと会話をしながら、学んだ基本を生かして実践していました。



## 3年間の思い出を胸に

### 中学校卒業式(三好中学校)

町内中学校で3月6日、卒業式が行われました。今年卒業を迎えたのは565人。三好中学校では、164人が一人ずつ名前を呼ばれると大きな返事で答え、花井修校長から卒業証書を受け取りました。花井校長は「それぞれの道で頑張り、幸せな人生であることを願っています」とお祝い。最後に卒業生代表が「素晴らしい仲間を作り、さらに良い三好中学校になるように期待しています」と在校生にエールを送り、巣立っていききました。



## 映画から学んだもの

### 男女共同参画映画会

男女共同参画映画会が3月8日、サンアートで開催されました。映画「佐賀のがばいばあちゃん」の上映会と講演会に、990人が来場。初めに映画監督の倉内均さんが、映画に関するエピソードを交えて講演しました。倉内さんは「人生は辛いことの方が多いですが、いつも笑顔で生きていくことが大切だと学びました」と映画から得たことを紹介。その後映画が上映され、笑いあり涙ありの作品に会場は感動に包まれていました。



## みんなが親しめる農地に

### ほっとホット農園植え付け

明知地内の遊休農地を活用し、農作物の栽培を通して、町民の食育につなげようと設立された「ほっとホット農園実行委員会」。3月12日には、委員の皆さんがジャガイモ20キロとユリ600本の植え付けを行いました。塚崎一代会長は「委員それぞれの知識を生かして、たくさんの方がこの農地に参加し、収穫の喜びを知ってもらえたら」と願っていました。今後は栽培管理を行っていき、6月に町民参加による収穫体験を予定しています。

